

公 共

設 計 図 書

(特記仕様書・位置図・業務数量総括表)

2025 年度施行

公共下水道 汚水幹線点検調査業務

留萌市

特

記

仕

様

書

特記仕様書

第1章 一般事項

1. 1 目的

本業務は、発注者が策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき管路施設を点検調査し、健全度診断を実施することを目的とする。

1. 2 業務の対象

(1) 位置：別紙位置図及び調査対象路線図のとおり

(2) 対象数量：汚水1-1号幹線及び汚水2-1号幹線（別紙調査対象路線一覧表のとおり）

本管φ700mm～φ1200mm L=1,148.62m（14区間）

マンホール14箇所

1. 3 仕様書の適用

本業務は本特記仕様書のほか、次の参考文献に基づき履行することとする。

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| ・測量調査設計業務等共通仕様書 | ・・・北海道建設部 |
| ・下水道維持管理指針 | ・・・（公社）日本下水道協会 |
| ・下水道管路施設ストックマネジメントの手引き | ・・・（公社）日本下水道協会 |
| ・下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン | ・・・国土交通省 |

1. 4 積算基準等

本業務の設計図書は、北海道建設部土木工事積算基準（下水道編）第3編下水道事業委託積算基準に基づき作成している。

1. 5 再委託承諾を省略する指定部分

本業務のうち、発注者の承諾を省略して受注者が第三者に委任し、または請け負わせることのできる軽微な部分は次の作業とする。ただし、業務体系図には漏れなく記載し、業務計画書に編さんすること。

(1) 調査対象施設の洗浄に関する作業

(2) 現地作業時の交通誘導警備に関する作業

1. 6 災害発生時の対応

災害などの緊急事態対応については別途協議する（業務計画書に緊急時の体制及び連絡方法を記載すること）。

1. 7 成果品

提出する成果品は次の項目を標準とする。なお、項目については協議により適宜変更してもよい。また、提出時に全て合冊してもよい。

- ・業務計画書 : A 4 版 1 部 (初回打合せ時に提出、報告書原本に同梱)
- ・打合協議簿 : A 4 版 1 部 (都度提出、報告書原本に同梱)
- ・業務報告書 : A 4 版 原本 1 部、副本 1 部
- ・撮影データ : 1 式 (一般的なツールで閲覧可能なデータ。電子媒体で提出)
- ・電子媒体 : 上記を納めたディスク 1 枚 (報告書原本に同梱)

1. 8 業務打合わせ

業務の打合わせは、次のとおり予定している。

第 1 回打合わせ、中間打合わせ 2 回、成果納品 1 回の合計 4 回とし、いずれも留萌市役所上下水道課で行う。

第2章 現地調査

2. 1 時間的制約を求められた場合の報告

本業務の履行に当たり、関係機関等から通勤・通学の時間帯や周辺地域の状況により、時間的制約等を求められた場合は、業務担当員に報告すること。

2. 2 通水下における調査

本業務は下水が通水した状態で調査を行うことを想定しており、水替工は考慮していない。

2. 3 降雨日の回避

気象予報により大雨が発生することが明らかな場合は、雨天時侵入水による流量増加を避けるために休工とすること。具体的な雨量については業務担当員と協議し、業務計画書に記載すること。また、いわゆるゲリラ豪雨が発生した場合は直ちに作業を中止し、労務災害の防止及び本管流下能力の確保に努めること。

2. 4 ガス濃度測定

本業務は酸素欠乏危険場所での作業となることから、作業前にガス濃度を測定し、酸素濃度18%以上、硫化水素濃度10ppm以下であることを確認すること。

2. 5 換気

ガス濃度が規定値を逸脱するおそれのある場合は、作業前から換気を実施し、作業終了まで継続させること。

位

置

図

位置図

地理院地図
GSI Maps



業 務 数 量 総 括 表

業務名	公共下水道	汚水幹線点検調査業務
-----	-------	------------

業務数量総括表

		業務名	公共下水道 汚水幹線点検調査業務		(当 初)	業 種	下水道設計業務	
						項 目	下水道施設設計業務委託	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
						名称	単位	数量
下水道施設設計業務委託		式		1				
ストックマネジメントに基づく点検調査 (管路施設)		式		1				
ストックマネジメントに基づく点検調査 (管路施設)		式		1				
管路施設点検		式		1		< 1 式当たり > 本管カメラ調査 マンホール調査工	式 式	1 1
報告書作成		式		1		< 1 式当たり > 調査結果の判定 報告書作成	業務 業務	1 1
設計協議		式		1		< 1 式当たり > 設計協議 管路施設ストックマネジメント	式	1
直接経費		式		1				
直接経費		式		1				
旅費交通費		式		1				

業務数量総括表

		業務名	公共下水道　汚水幹線点検調査業務		(　当　初　)	業　種	下水道設計業務		
						項　目	直接経費		
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
						名称	単位	数量	
旅費交通費		式		1		<　　1　　式当たり> 設計（打合せ）協議に伴う交通費（ライトバン使用）	往復	4	
電子成果品作成費		式		1					
電子成果品作成費		式		1					
直接原価		式		1					
その他原価		式		1					
業務原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
設計業務価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
業務費計		式		1					

調査対象路線一覧表

整理 番号	図面 番号	幹線 番号	管 番号	管種	管径 [mm]	施工年度		延長 [m]	MH種	MH深 [m]	MH設置状況	備 考
						西暦	和暦					
1	12-7	1-1	60	HP	1200	1989	H1	11.05				
2	12-7	2-1	65	HP	800	1988	S63	93.71	特殊	11.767	処理場敷地内	
3	12-7	2-1	65	HP	800	1988	S63	93.60	特殊	11.157	処理場敷地内	
4	12-7	2-1	65	HP	800	1989	H1	88.70	特殊	11.171	処理場敷地内	
5	12-8	2-1	65	HP	800	1989	H1	91.48	特殊	10.084	路外	
6	12-8	2-1	64	HP	800	1989	H1	57.39	特殊	11.420	車道内	
7	12-8	2-1	63	HP	800	1989	H1	95.85	特殊	8.995	路外	
8	12-12	2-1	63	HP	800	1989	H1	59.54	特殊	9.707	車道内	
9	12-12	2-1	62	HP	800	1989	H1	59.52	特殊	9.441	車道内	
10	12-12	2-1	61	HP	700	1990	H2	144.55	特殊	9.133	信号付交差点内	
11	12-12	2-1	60	HP	700	1990	H2	16.79	特殊	7.935	車道内	河川横断
12	12-13	2-1	58	HP	700	1990	H2	100.72	特殊	7.855	車道内	
13	12-18	2-1	57	HP	700	1990	H2	115.42	特殊	7.519	車道内	
14	12-18	2-1	56	HP	700	1990	H2	120.30	特殊	7.827	車道内	
15									特殊	7.789	信号付交差点内	
合計				最小	700	1988	最古	1,148.62	14箇所	7.519	最浅	
				最大	1200	1990	最新			11.767	最深	

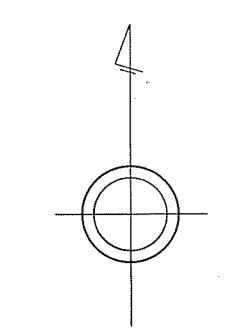
留 萌 市 公 共 下 水 道 台 帳

(施設平面図)

12-7

平成元年二月測図

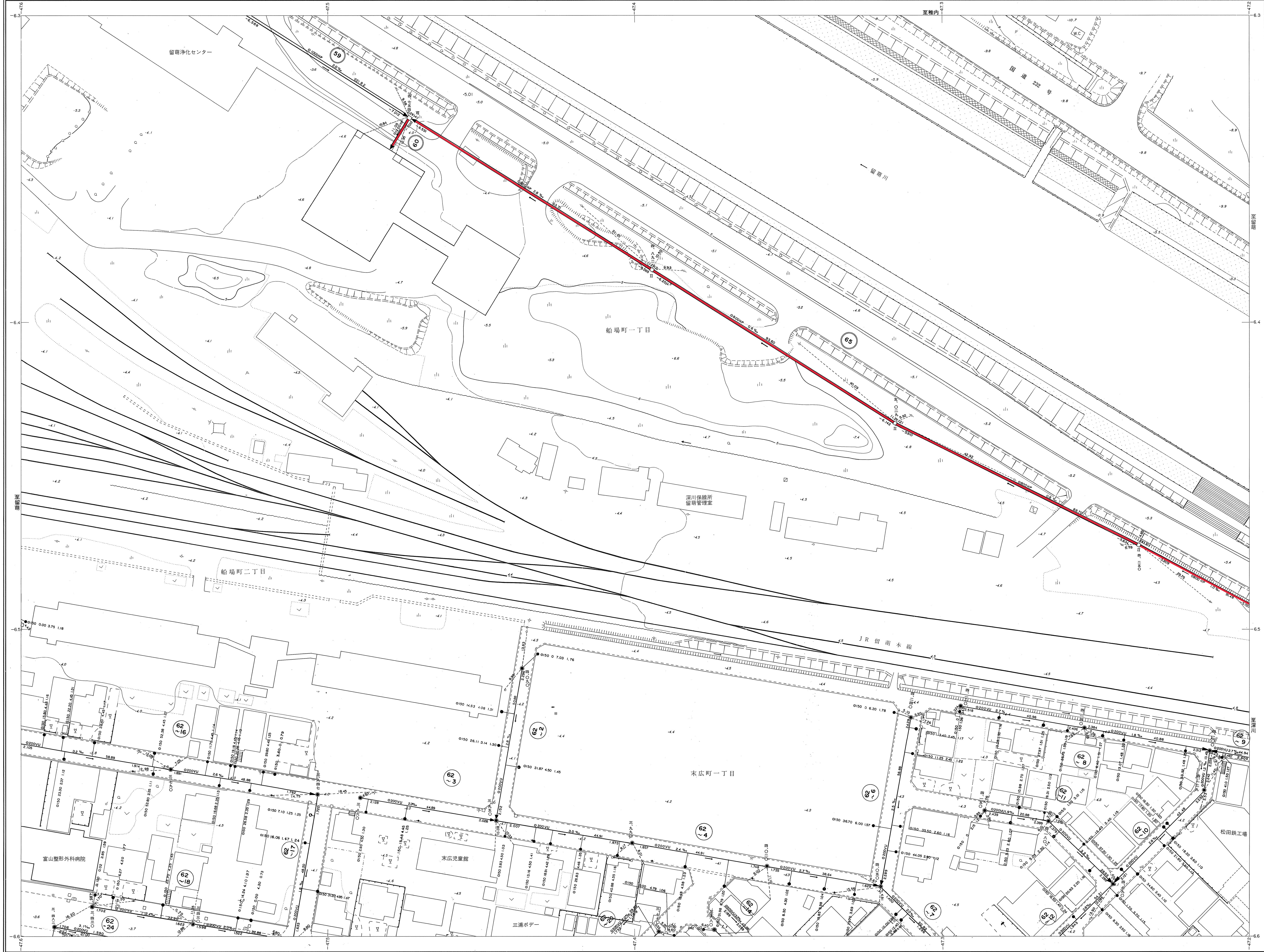
12-1	12-2
12-6	12-7
12-11	12-12
12-13	12-14



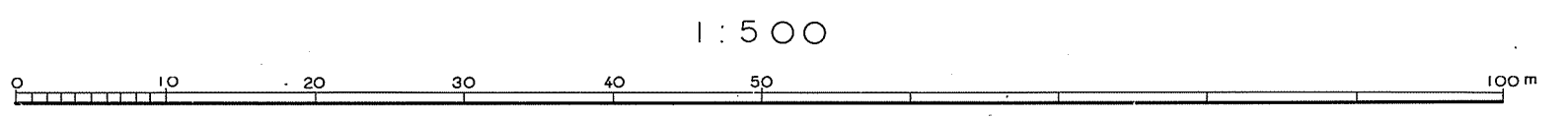
記号	説明
○	幹線汚水管渠
●	幹線雨水管渠
○	枝線汚水管渠
●	枝線雨水管渠
○	取付管渠
○	0号マンホール
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	特殊マンホール
○	副管付マンホール
○	1号汚水(コンクリート製)
○	2号汚水(塩化ビニル製)
○	1号雨水
○	吐き口区
○	排水区界
○	処理区界

分 流 式	
凡 例	記号
幹線汚水管渠	○
幹線雨水管渠	●
枝線汚水管渠	○
枝線雨水管渠	●
取付管渠	○
0号マンホール	○
1号マンホール	○
2号マンホール	○
3号マンホール	○
特殊マンホール	○
副管付マンホール	○
1号汚水(コンクリート製)	○
2号汚水(塩化ビニル製)	○
1号雨水	○
吐き口区	○
排水区界	○
処理区界	○

留 萌 市 役 所



撮影 昭和 60 年 7 月
現 観 昭和 60 年 8 月
図 化 昭和 60 年 9 月
縮 小 率 1/500
縮 小 率 1/500
縮 小 率 1/500



「この図は昭和60年度作成の道路台帳図を縮小し作成したものである。」

12-7

株式会社バスコ調製

(施設平面図)

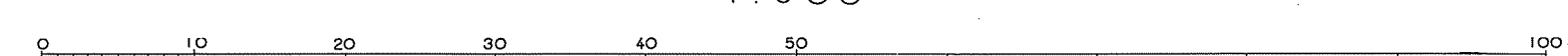
株式会社パスコ調製

留萌市役所

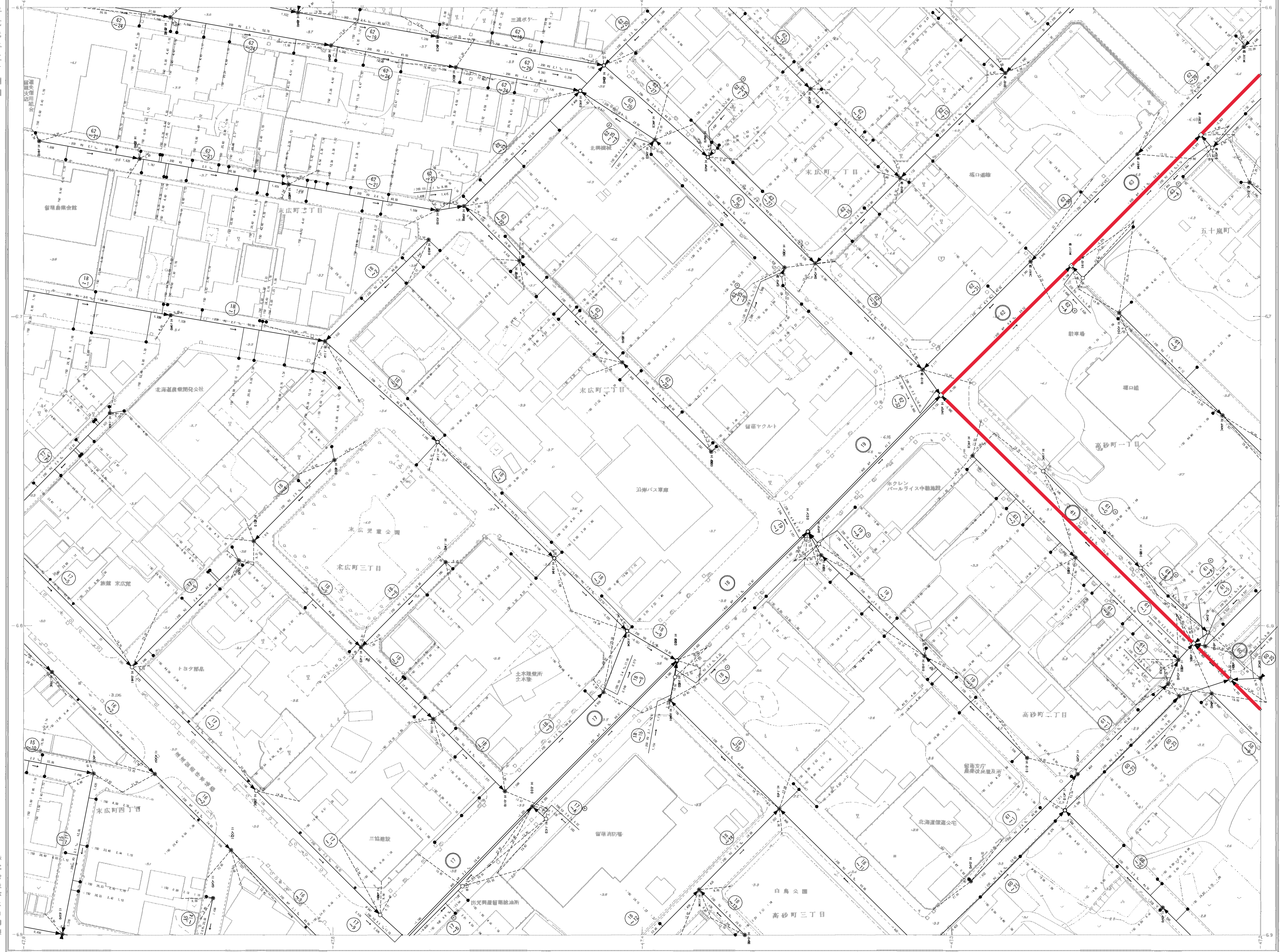
分 流 式	
凡 例	
記号	種 別
——	幹 線
==	幹 線
---	枝 取
○	0 号
●	1 号
◎	2 号
¹ / ₂ D ₁ □	特 殊 管
○—	副 管 付
○	1号水 (コンクリート製)
○	2号水 (塩化ビニル製)
□	1 号
—	吐
—	排 水
—	理 区
—	界 界

12-8

1:500



平成元年二月開闢



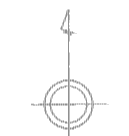
最新 昭和58年3月
修訂 昭和58年4月
設計 昭和58年9月

設計 池田 浩二
監修 池田 浩二

1:500

この図面は留萌市役所の所有物であり、複製・転載を禁じます。

12-11	12-12	12-13
12-14	12-15	12-16
12-17	12-18	12-19



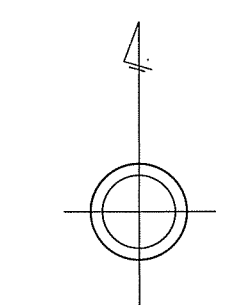
12-11	12-12	12-13
12-14	12-15	12-16
12-17	12-18	12-19

分 流 式	
記号	凡 例
——	幹線汚水管線
——	幹線雨水管線
——	枝線汚水管線
——	枝線雨水管線
——	管 付 管 渠
○	0号マンホール
●	1号マンホール
●	2号マンホール
●	3号マンホール
●	4号マンホール
●	5号マンホール
○	特殊マンホール
○	調査付マンホール
●	1号雨水(コンクリート製)
●	2号雨水(コンクリート製)
○	1号雨水(鉄管製)
○	2号雨水(鉄管製)
○	3号雨水(鉄管製)
○	4号雨水(鉄管製)
○	5号雨水(鉄管製)
○	200mm雨水マンホール
○	300mm雨水マンホール

留 萌 市 役 所

平成十四年二月測図

12-7	12-8
12-12	12-13
12-17	12-18



記 号	
○	幹線汚水管渠
○	幹線雨水管渠
○	枝線汚水管渠
○	枝線雨水管渠
○	取付管渠
○	0号マンホール
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	特殊マンホール
○	副管付マンホール
○	1号汚水(コンクリート樹)
○	2号汚水(塩化ビニル樹)
○	1号雨水樹
○	吐き口
○	排水区界
○	処理区界
○	200簡易ホール
○	300簡易ホール

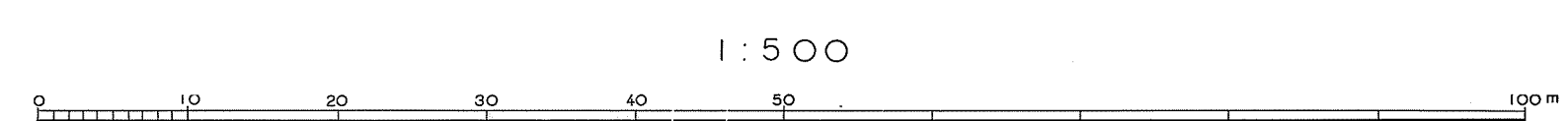
分 流 式	
凡 例	
記号	種 別
○	幹線汚水管渠
○	幹線雨水管渠
○	枝線汚水管渠
○	枝線雨水管渠
○	取付管渠
○	0号マンホール
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	特殊マンホール
○	副管付マンホール
○	1号汚水(コンクリート樹)
○	2号汚水(塩化ビニル樹)
○	1号雨水樹
○	吐き口
○	排水区界
○	処理区界
○	200簡易ホール
○	300簡易ホール

留 萌 市 役 所



(1)撮影 昭和60年7月
現 況 昭和60年8月
図 化 昭和60年9月
(2)撮影 平成8年6月
現 況 平成13年10月
図 化 平成13年11月

座標系 新道系
等高線 1m



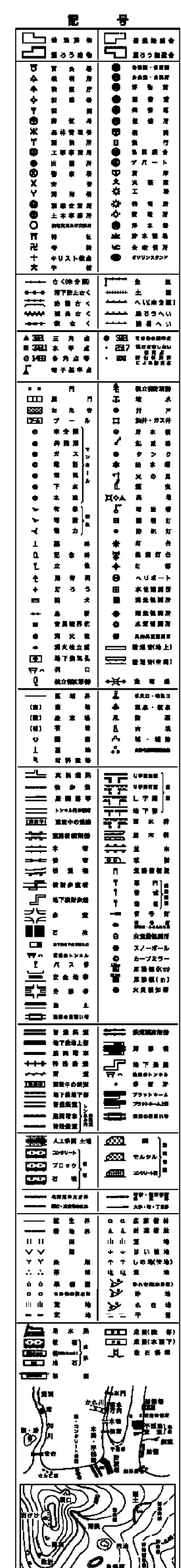
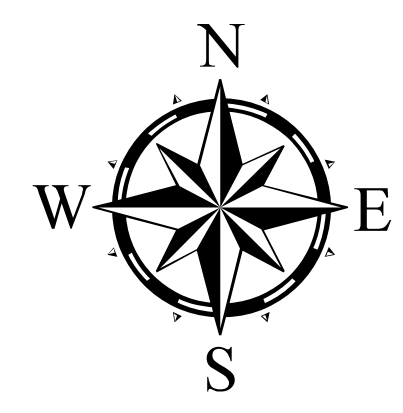
「この地図は昭和60年度作成の道路台帳図を編集し作成したものである。」

株式会社バスコ調製

令和四年三月調製



12-12	12-13	12-14
12-17	12-18	12-19
12-22	12-23	12-24



分 流 式	
凡 例	
記号	種 別
—	幹 線 汚 水 管 渠
—	幹 線 雨 水 管 渠
—	枝 線 汚 水 管 渠
—	枝 線 雨 水 管 渠
○	取 付 管 渠
○	0 号 マンホール
○	1 号 マンホール
○	2 号 マンホール
○	3 号 マンホール
○	4 号 マンホール
○	5 号 マンホール
○	特殊 マンホール
○	副 管 付 マンホール
○	1 号汚水 (コンクリート制)
○	2 号汚水 (塩化ビニール制)
○	1 号 雨 水 樹 口
○	吐 水 区 界 界
○	排 水 区 界 界
○	200 簡 易 ホール
○	300 簡 易 ホール

留 萌 市 役 所

株式会社GIS北海道調製

